



【令和3年度要求額(一般分)782百万円(185百万円)(特会分)7,793百万円(1,995百万円)】環境省

温室効果ガス観測技術衛星GOSATシリーズによる世界の温室効果ガス排出源の特定と排出量の把握を目指す

1. 事業目的

- ① GOSATシリーズにより世界の温室効果ガス(GHG)濃度の分布状況とその時間的変動を継続的に監視する体制を維持・強化するため、GOSAT及びGOSAT-2を適切に運用するとともに、3号機(GOSAT-GW)の開発と打上げ準備を行う
- ② グローバル・ストックテイクへの貢献を目指し、客観性の高い独立した排出量検証手法を実証し確立する
- ③ 各国が自らGOSATシリーズの観測データを用いてGHG排出量の比較評価を行えるよう、世界をリードして国際標準化を図るとともに各国への技術支援を行う

2. 事業内容

1. GOSATシリーズによる継続観測

- ・ 世界初のGHG観測専用衛星GOSAT(2009年打上げ)のミッションを発展的に継承したGOSAT-2(2018年打上げ)の継続運用を行う。また2028年の第2回グローバル・ストックテイクを見据え、宇宙基本計画に基づき文科省と共同で世界でも先駆的なGOSAT-GW衛星観測システムの開発を行い、温室効果ガス排出源の特定と排出量の推定精度向上を目指す。

2. GHG濃度算出と人為起源排出量の推計と検証

- ・ 衛星データ等を用いた濃度算出アルゴリズムの高度化を図るとともに、GHG排出インベントリとの比較評価を行う。

3. 国際標準化と技術支援による国際貢献

- ・ 各国の宇宙機関との相互評価、地上観測データとの比較検証に基づき国際標準化を図るとともに、途上国への技術支援を実施する

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業、請負事業
- 委託・請負先 民間事業者・団体等
- 実施期間 平成26年度～

4. 事業イメージ

